

## 第 8 回軽金属功績賞

いけだ まさひこ

受賞者 池田 勝彦 君 関西大学 教授 昭和 30 年 7 月 21 日生(54 歳)

### 受賞理由

池田勝彦君は、20 年以上にわたり、 $\beta$  型チタン合金の相変態挙動に関する基礎的研究を進めており、特に、非熱的  $\omega$  に関する研究では、比抵抗測定を駆使することで、多くの  $\beta$  型チタン合金での非熱的  $\omega$  の生成組成範囲や生成温度範囲について提案し、さらに非熱的  $\omega$  が  $\beta$  型チタン合金の時効挙動や機械的性質に密接にかかわっていることを見出している。それらの研究成果は、 $\beta$  型チタン合金を研究する上で重要な知見であると高く評価されている。最近では、これらの研究成果を基礎として、医療用や福祉用の機器・器具のための  $\beta$  型チタン合金の研究・開発を積極的に行い、両用途への使用が可能な Ti-Cr 系合金の研究を進めている。その成果の一つとして Ti-13Cr-1Fe-3Al 合金があり、現在民生品に使用され、低コスト  $\beta$  型チタン合金として国内外で高く評価されている。さらに、最近では、チタンとその合金のユビキタス化をめざした研究として、埋蔵量の多い Mn に注目し、Ti-Mn 系合金の研究・開発についても、成果を挙げている。

以上のように、同君の軽金属に関する学術面および技術面の功績は極めて顕著であり、ここに軽金属功績賞を授与する。